

23価肺炎球菌ワクチンの 再接種を希望される方へ

前回接種から5年以上あけてください。

5年以内に2回目の接種をすると、注射部位が赤くなったり、腫れたりするなどの副反応が強くなる、副反応が起こる人の割合が高くなる可能性があります^{1,2)}。

お手持ちの接種済カードなどで、前回の接種日をご確認ください。

また接種日が不明の場合は、以前接種を行った医療機関にお問い合わせください。

1) Borgono JM, et al. Proc Soc Exper Biol Med. 1978; 157(1): 148-154.

2) Musher DM, et al. J Infect Dis. 2010; 201(4): 516-524.

表面

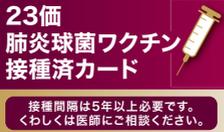


裏面

氏名	
接種日	年 月 日
次回の23価肺炎球菌ワクチン接種可能日	年 月 日以降
接種施設名	

お手持ちのカードの色をご確認ください。

下記の色のカードをお持ちの方は、再接種ができる可能性があります。



下記の色のカードをお持ちの方は、5年以上経過していない可能性があります。



ワクチンの接種回数に上限の規定はありませんが³⁾、接種で得られる利益がある一方で、副反応などのリスクがあるため、医師に相談してください。

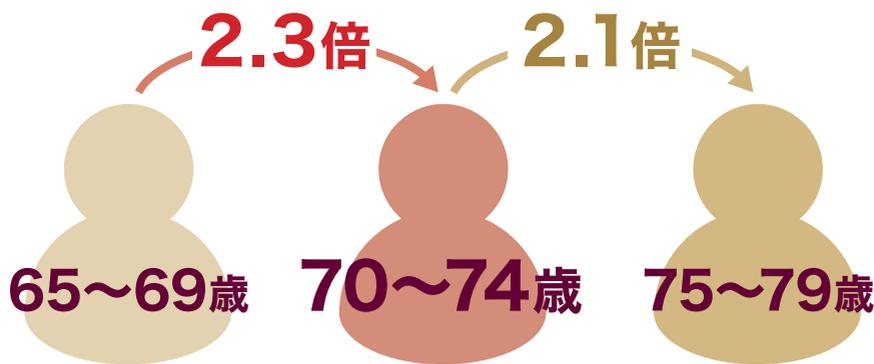
3) ニューモバックス®NPシリンジ電子添文。2023年8月改訂(第3版)

このリーフレットは、医療関係者から23価肺炎球菌ワクチンの再接種を希望される方にお渡しください。

肺炎による死亡率 70歳以上になるとさらに増加します。

肺炎は年齢が上がると
死亡のリスクが高まります。

●肺炎による死亡率の加齢による増加●



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2022年より作成

実は多い、肺炎球菌による肺炎
肺炎球菌は日常でかかる肺炎の原因のうち
第1位の細菌です¹⁾。

1) 日本呼吸器学会. 成人肺炎診療ガイドライン2017 p10

※23価肺炎球菌ワクチン接種は、全ての肺炎を防ぐものではありません。